

平成24年度 地域づくり人養成講座 ～第一次産業を通じて地域づくりを学ぶ～

臨時研究員 徳永 真菜美



開講式
&
第1回

6月23日
「まちづくり総論」
講師：愛媛大学農学部
教授 森賀盾雄氏

第2回

7月20日
「水産業を通じた地域活性化」
講師：遊子漁業協同組合
女性部長 山内満子氏

第3回

8月24日、25日
「複業的自伐林業を通じた地域づくり」
講師：NPO土佐の森・救援隊
事務局長 中嶋健造氏

第4回

9月21日
「農業を通じた地域密着の町づくり」
講師：(株)森のともだち農園
代表取締役 森智子氏

第5回

10月19日
「農林水産業が連携した着地型観光」
講師：JR下灘駅フィールドミュージアム
運営委員会事務局長 富田敏氏

第6回
&
閉講式

12月1日
受講生 発表
全講座の指導講師：(有)邑都計画研究所
代表取締役 前田眞氏

今年のテーマ

当センターでは、主要事業の一つとして地域づくりのリーダーとなる人を育て、地域づくりに携わる人同士の結び付きを深めることを目的とした「地域づくり人養成講座」を開催しています。

約半年間に渡って、愛媛県内の地域づくりに精を出している場所を巡りながら学んでいくこの講座も今年で13回目。今までは、福祉や観光なども織り交ぜ、幅広い分野での学びの場としてきましたが、今回は、「第一次産業を通じた地域づくり」として、地域を支える礎となっている農林水産業にスポットを当てました。

「地域づくり人」になろう！

今回、受講生を募ったところ、県庁・市役所・公民館の職員といった公務員をはじめ、NPO、大学教授・学生など、テーマを絞ったにも関わらず、分野・年齢問わず幅広いメンバーが集まりました。

そのため、グループワークなどの話し合いの場では、思いもよらない意見や、新鮮な考え方が飛び交い、戸惑いと共に、しかし、回を重ねることに考えがまとまっていきました。そして、



第2回 宇和島市遊子

今年度の受講生も、熱を込めて「地域づくりプレーヤーの一員として、地域の力になりたい！」と思いを語る方々がでてきました。

養成講座の内容

第1回は、座学として、グループワークの手法や、第一次産業を通じた地域づくりについて学びました。森賀教授の「何に成るか」よりも「何を為すか」の方がはるかに大切」という言葉により、地域のためにどう動いていくかを本質的に考える視点をもちました。また、偶発的にグループが決まるゲームを利用して、半年間を一緒に進めていくチームを決定しました。

第2回から第5回までは、実際に現地へと足を運びました。各回では、「現地研修」「専門講義」「グループワーク」を一日か

けて行いました。

最初の現場の宇和島市遊子^{ウツコ}では、漁業の現状と取り組みなどを学びました。山内満子さんは遊子をもっと知ってもらおうと、キッチンカーを地域外で走らせる等、熱心に活動に取り組んでいます。そして、地元の物を加工した「たべ鯛バーガー」などを販売することを始め、地域住民と一緒に歩める方法を模索しながら、将来どうしたら地域に子どもが増えるかを話し合いました。



第3回 高知県いの町

第3回では、高知県いの町で、林業の現実と可能性を知りました。この地域では、地元の人が地元の山で自伐林業をすることで、山が整備されると同時に、間伐材や林地残材の売却で地元の自伐林家は成り立ち、売上の一部を地域振興券にすることで、地元の商店も潤うという地域で経済が循環する流れができていました。中嶋健造さんのシンプルかつ筋のある考えを元に、さらに地元の木を利用できる可能性を探りました。



第4回 今治市玉川町

次に、地域のありのままを見た場所は、今治市玉川町。人とのつながりを広める役割を持った農業を進める森智子さんは、なによりも地元を愛しています。地元の方の声に

しっかりと耳を傾けること、地域のちよつとした特徴にも視点を向けて活かすこと、受講生はそのような姿勢に感銘を受けながらも、さらに地域資源であるブルーベリーやマコモタケなどを活かすことに思考を巡らし、グループワー



第5回 伊予市双海町

クの能力を高めていきました。現地研修最後の第5回は、東京から移住して来た、富田敏さんのお話を伺いました。双海町には、元気な農林水産業や豊かな自然など、大小数多くの魅力が存在しますが、それらのどれをどう磨き、どんな人に来て欲しいか、どうやって知ってもらおうか、より具体的な観光プランを出していきまし

「地域づくり」のはじまり

ある受講生が、閉講式で言っていました。「自分がその地域の現状に疑問を感じ、行動に移していくことができれば、誰もがリーダーになる可能性がある。」その言葉に呼応するよう



閉講式

きのみなさんの顔は、「私もっ！」と、地域へ飛び込んでいくことに胸を高鳴らせているように感じました。全講座でご指導をいただいた前田先生からも、「持続可能な地域づくりを進めていくためにも、この養成講座で培ったネットワークを大事に」という趣旨の言葉をいただきました。

来年度、どのようなカリキュラムになるかは未定ですが、引き続きこの講座を開催することとしておりますので、興味湧いてきた方は、是非受講してみてください。

私も、すべての講座を受講生と共に学ばせてもらい、それぞれの地域で出会った方々もそうですが、受講生とも講座や交流会を通してグッと近づけたことが、これから地域（社会）で頑張っていくうえで、の励みになると思います。

最後に、同じように受講生が言っていました。養成講座のOB・OGの方々は、現在、様々な場所でも活躍されています。今年の受講生が自身の地域で「地域づくり人」になれることを祈るとともに、来年以降の受講生との新たな出会いも楽しみにしたいと思います。